

別紙 助成団体紹介

団体名：（1）Café de Familia（子ども食堂） 令和2年9月22日設立

三芳町の学習支援教室でボランティア活動をしている大学生が、子どもや高齢者の支援を目的に「ボランティアカフェ」を立ち上げました。

地域の誰でも参加できる食堂です。町内の学習支援教室などで無料券を渡すなど参加を促す工夫をしています。

また、コロナ禍で外出の機会が減った高齢者や子どもが気軽に楽しめる場の提供も考え、感染予防に配慮してワークショップ（例：キャンドル作り）を同時開催し、参加者同士が交流できる地域のコミュニティスペースを目指します。

活動場所は、三芳町社協の支援を受けて住宅街の一角にある「社協の家」（月1回開催）

助成団体の声 代表の石橋萌子さん

「身近なところに、一日3食の食事が取れていない子供達がいることを知り栄養バランスの取れた食事や安心できる居場所づくりをしたいと考えました。助成金を活用して、カフェで使用する備品類や、クレープメーカーを購入して子ども達が喜ぶ工夫をしていきたいです。今後も、感染予防策を講じて、開催していきたいと思っています。」

【第1回開催日 令和2年10月31日（土）】



Café de Familia 設立メンバーと三芳町社協職員 10月メニュー：白いハンバーグプレート

団体名：（2）加須北子育て応援隊（フードパントリー） 令和2年9月23日設立

加須市内のひとり親家庭等を対象としたフードパントリー活動を隔月で開催し、ひとり親同士の交流や、悩み相談の場として「くつろぎカフェ」を併設した居場所も提供。※コロナ禍によりカフェは休止

食材集めや会場など、加須市役所の子育て支援課や社協、児童養護施設の協力を得て、地域の頼れるパントリーを開催して参ります。

助成団体の声 代表の関根由紀さん

「今までパントリー活動が無かった、大利根地域や北川辺地域でパントリーを開催する予定です。特に大利根地域では、児童養護施設の光の子どもの家に会場をご提供いただき、職員の方々にお手伝いもいただきながら実施します。」

他にも地元農家や企業、医師会、市民の皆様などの地域のつながりを生かして活動を進めていきたいと思っています。フードパントリー活動の運搬費に活用できる助成金は、大変ありがたいです。」